

初稿 2025.08.21

改訂 2026.01.09

開催概要：「小国高校生×地域事業者 キャリア連携会議」

小国高校魅力化コンソーシアム プロジェクトディレクター

合同会社 ogunist 野村 卓馬

この度、下記の通りに地域事業者を対象にした小国高校生の卒業後進路に連携する会議を発案いたします。地域経済の担い手である次世代の活躍の場を地域で自給する持続的な仕組みづくりを目指すことを第一義とし、それだけでなく、次世代に求められる事業者として時代と共にブラッシュアップし続ける魅力的な経済圏の構築、そして地域の最高学府である高校の発展的な存続とそれによる地域そのものの価値や可能性の最大化の契機として捉えていただきたく、両町共創の一環として何卒ご理解ご協力のほどお願い申し上げます。

■ 企画内容

開催形式：講義＆講演 *オンライン参加も可だが、出来るだけオフラインで

*パスワード付きの限定公開の YouTube でアーカイブ配信

講師：小国高校キャリア支援員/倉田さま

小国高校 3年生/清高綾華さま（地元就職内定者）

内容：

- 1、小国高校における進路指導の現状（進学・就職の割合、就職者の県下実態データ等）
- 2、高校生のキャリアイメージ実像（高校生実話）
- 3、高卒新人を採用するためのルールと手続き

開催日程：2026年2月18日(水) 11:00～12:30

開催場所：小国町商工会 2階会議室

■ メイン対象者

- 1、両町商工会 加盟事業者
- 2、非加盟だが両町に本店登記または支店等を有する事業者

■ 開催構成

主催：小国高校魅力化コンソーシアム（仮） *コンソーシアム概要は後述

協力：小国町商工会、南小国町商工会、熊本県立小国高等学校 後援：小国町、南小国町

■ 小国高校魅力化コンソーシアム（仮）

県立小国高校存続のために、小国町・南小国町・小国高校の3者で主体的に構成する組織。
2026年度の設立に向けて2025年度から準備中。

■ 予算元

基本的に各主催後援の設備や備品を活用させていただき、実費が発生しない形で開催。

講師も担当業務の一環として謝礼無しの方向で調整済。

その他やむを得ない実費発生時は第一にコンソーシアム予算枠から捻出を検討し、

それが難しい場合両町及び両商工会へ相談するものとする。

■ 経緯

[地域事業者]

地域の事業経営者の方から「小国高校の生徒さんを新卒で採用し、地域社会の担い手として、そして地域から国内外で活躍する人材のバトンを繋いでいきたい」とご相談をいただく。

[高校]

両町の事業者様から個別で「高校生を採用したい」といった問い合わせが月20件近く届いているが、皆さん高卒採用ルールをご存知ではなく、高校所属のキャリア支援員の協力を得ても個別対応が非常に困難だという状況をヒアリング。

■ 目的

- 1、現役小国高校生の進路実態への地域理解を深める
- 2、地域経済内での次世代の活躍業種の受け皿増加
- 3、小国高校生の卒業・進学後のキャリア選択肢の多様化
- 4、地域事業者に対する高卒採用のコンプライアンス遵守環境の整備

■ 高校と地域を取り巻く現状と展望

小国高校は例年、国が定めた1クラス構成定数の41名にギリギリの実績が続いており、2027年の県立高校再編に向け単独存続の厳しい状況が続いています。その状況を開拓するため、地元の高校を選ぶことが前向きな選択肢となり、子どもたちの未来を具体的に充実させる教育環境を地域も一体となって提供していくことを目的に、小国町、南小国町、小国高校の3者合意により熊本県の支援を受けてコンソーシアムの設立・運営準備に取り組んでいます。

県立高校は県の管掌ではありますが、高校そのものは立地自治体や隣接自治体と密接に関係した存在です。よって小国高校の存続は、小国町と南小国町の未来に大きな影響を与えます。県内においては、県立高校が消滅した自治体の経済損失は年4000万円以上と試算されたこともあります。人口減少も3割以上加速するデータ(出典:RESAS)も見られます。

小国高校は2年時より進学と就職でクラスが分かれ、約15%の生徒(6名前後)が就職を選びます。地域内で多様な職種で活躍できる環境が整えば、地域そのものの可能性を感じる子どもや保護者が増えるでしょう。そしてそれは高卒就職する学生だけでなく、進学を希望する学生が地域に戻るキッカケを創り出す事にも繋がります。また、地域外から見ても、地域教育とキャリアが多様に接続する環境は、特に次世代にとって非常に魅力的に映り、地域の魅力化に繋がります。